

部門に区分し、諮問、運営の両委員会は努めて質素に検約し、奉仕活動部門に縦横な活躍ができるように資金運用を考えています。それぞれの委員会活動は拡大境でNew lookしたうえで、その任務、責任分野を明確にし、地区委員会と各クラブの連絡が密にとれるよう考慮しました。協議会で配布しました地区組織図表、地区委員会規約をご覧ください。各委員長、委員の方がたに気楽にご連絡し、それぞれの地域社会に適う具体的な奉仕の推進に努めて下さい。

●酒の害と益 中村 友輔

酒は、エチル・アミール・プロピール等のアルコールを主な成分とする。アルコールは麻酔薬で、大脳の抑制作用を麻痺させるので、タバコの個人衛生の範囲内における害と違って、精神病、暴力犯罪、交通事故等の社会問題をひき起こす。アル中になると、意志薄弱、精神病、注意力減退、視力減退、視野狭小等を起こし病気への抵抗力も弱体化させる。アルコールは肝臓で酸化されるが多量にすぎると、肝臓の負担を大きく肝硬変を起こさせる。

血液中の濃度により、微くん、ほろ酔い、酩酊、泥酔、麻痺という段階があるが、先天的な個人差が作用する。これはアルコールを分解する酵素の多少に関係がある。

ほろ酔いは、平均して血液中の濃度が0.05程度を言い、酒2合、ビール1・2本、ウイスキーはウイスキーグラス2・3杯で、この程度の晩酌は安全といえる。またゆっくり飲むべきで、肴にはパン、チーズ、白味の魚、タコ、イカ、エビ、カニ等がよく、メシ、ウドン、バター、スズコ、カズノコ、豚肉、香辛料、ピーナツ等はよくない。消化し易い蛋白質は、アミノ酸にはりアルコールの燃焼を促進させ、体外排除を早くさせるものである。

日本酒はフーゼル油を追出すためにも爛をしたほうがよい（合成酒はフーゼル油を少量しか含まない）。飲酒後は昔から柿をたべるといいというように、蜂蜜とか果糖を摂るのがいい。ウイスキーはストレートはさけて水で割って飲むべきである。

酒の益は、気特ちくくつらげ、人と人の隔りを取り除く作用をし、また少量なら心臓の働きを助成させる。オランダでは、ジン風邪薬としているほどだ。ただし宿酔いの迎酒は悪い。結核患者も少しなら飲んだほうがいいが、病院管理上禁示している。高血圧症で脳溢血の心配ある人は禁酒すべきである。

●出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 8. 30	53名	39名	14名		
47. 8. 23	53名	25名	28名	23名	90.57%
在函クラブ	(8/17) 函館R.C. 93.50%	(8/22) 函館東R.C. 98.90%	(8/18) 函館五稜郭R.C. 100%		

★第413回例会欠席者

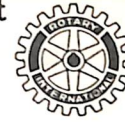
飯田、岩塚、小村、外山、関本、小笠原、成沢、佐々木(稚)、山内(文)、山田、酒井、吉井、石原、平山(敬称略)

次回例会日 9月13日

プログラム「早川弁理士のお話・題未定」

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所  
函館市大手町5-10  
日魯ビル3階  
☎.(0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10  
国際ホテル  
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1972. 9. 13

1972~1973 第11号

第415回例会



R.K

ハバロフスク、アムール川を望む

Let's take a new look もう一度見直そう (Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

本日のプログラム

「弁理士 早川政名氏のお話」

第414回例会記録

- 司会 市川芳夫会長
- ゲスト カールレーモン氏
- ビジター 長崎北R.C. 村上 明君 (ホテル)  
東京江戸川R.C. 伊藤 三好君 (鉄鋼)  
函館R.C. 須田 広三君 他5名  
函館東R.C. 高野 武久君 他1名  
函館(五)R.C. 羽野 栄一君 他2名
- 斉唱 君が我・奉仕の理想

●会長報告

昨夜、炉辺会合を開催致しましたが、若い方々と新入会員の方々が多数出席していた  
でき非常に活発な意見が出され誠に有意義なものでありました。

## ●幹事報告

- ①第9回シャロレー生産者会議(世界大会)が函館で行なわれます。  
レセプション  
日時—9月21日 PM6.00ヨリ(於)函館ロイヤル 会費一人¥2,000  
ソダ・シャロレー祭  
日時—9月23日 AM9.00ヨリ(於)ソダ牧場 入場料¥1,000  
内容—道産子の競馬 ロレオ(荒馬・荒牛乗り)  
前日より牛を丸焼きごちそうする¥200~500程度  
人数には別に制限はないとのことです。

## ②他クラブ情報

- 苫小牧R.C.~9月15日の例会は法定休日につき休会  
堺泉北R.C.と堺東R.C.~10月17日13時(ホテル:ブラザ)  
チャーターナイト挙行 登録料¥6,000

## ●親睦活動委員会

平野委員長

御案内の通り来る9月27日(夜間例会)親睦を兼ねて、家族共々「お月見例会」を計画し開催することと成りました。会費の件、家族¥1,000は御家族何名でも結構です。多数参加下さい。(10日迄御返事を)

## ●ニコニコボックス・報告

誕生祝~石原会員、山崎(幸)会員 おめでとうございます  
結婚祝~西巻会員、熊谷会員 おめでとうございます  
柴田会員~亀田市自治功労者として受賞しその記念として  
森(秀)会員~炉辺会合に遅刻したお詫びとして  
深瀬会員~何んとなく

## ●卓話「国際理解週間に因んで」カールレーモン氏

みなさん、この著名な団体の高邁な精神を持てる人々に、お話をする名誉に対し、私は衷心の感謝を申し上げます。

ヒューマンイズム、これが私に与えられた演題です。これは云うに易く、行なう難いものです。ヒューマンイズムを実体化する正道を見出すのは迷路に足をふみ入れるにも似たものです。善意ある処には光を見出す道があるものです。ヒューマンイズムに関しては無数の本が書かれて参りました。私の良き隣人として、私の家の前の道路のすぐ向い側に三つの教会と一つのお寺とがあります。それは「宗教のオアシス」又は「平和の島」とでも云うべきものです。千年にもわたり、彼等はヒューマンイズムの主要徳目を世人に教えることに心を砕いてきました。それは親切であれ、慈悲深くあれ、思いやり深くあれと云うことです。しかしこれらの教義の多くはさながら馬の耳に念仏の態でした。それに比すれば、私は個人として、はるかによい結果を得てきました。わずか50有余年で、私は非常な成功を収め、弟子をとることを拒否せざるを得ない有様です。

私には何百万人もの改宗者があるのです。これらの人々の改宗の中心課題は題ではなく胃の改宗なのです。(みなさんの多くが御存知の通り、私は無害で栄養価の高い食品の開拓者なのです。)教会とお寺は私と比較すると精神的食料を供給する大きな空間を持っているが、集まる人は極めて少ないのです。世界の人々が現代人をエコノミックアニマルと呼んでいるのは当然であると思われまふ。

戦争は破壊的であるが故に、ヒューマンイズムを実行する人は殆んどありません。しかし戦争が経る、人々が戦争によっておこされた大惨状を目にする時、ヒューマンイズムが力を持つに至ります。聖職者は協力者と共に精神的な、そして医者肉体的は苦しみを和げて居ります。それは心身共に健全な人間の再建に寄与しているのです。繁栄が極点に達すると人間は自己中心的となり、ヒューマンイズムは損われます。

人道主義者となるための哲学がいくつかあります。一例をあげれば、ある信仰は、神の人間の助けなしに、人間細々の本性の完成を期しております。その様な人間の義務は人類福祉にのみ限られております。偉大な哲学もその哲学の教師もろとも、又教会もお寺も放棄されます。従って人間はその度に心の深恩からやり直さなければならないこととなります。数年前、私は自分の工場の窓から外を眺めておりました。月が輝き象徴的な空にはキラキラときらめく星がちりばめられておりました。「お前がこの世に生を

うけているのは何の為か。地上に人間はなくてもこの世界は幸せに生き死んだであろうと私は自問しました。人間は自然を誤用し、自己に不快を招いております。人間は迫放者となってしまいました。戸外を眺めて居る間、窓外の木は私を見つめておりました。私のこの世での仮の住いに援助の手を差し伸べ、彼等は云うでしょう。「数年間、私はここにじっと立って来た。私は不平を云わない。お前に食べ物、舌み物を乞いもしないしかもお前の喜びのたねとなるべく毎年、衣を替え、美しい花を咲かせて来た。お前の吸う空気を私を清める。何故幸せを見出し我々に満足を憶え、我々を範とはしないのか木は私にこの様に語るかの様に思われました。

仕事を通して私は自然と密接に接触しております。何故ならば、私は人々のために自然食品を作っているからです。「自然の保護はこの世での我々の義務である」これこそ私が常に銘記せるスローガンです。自然を守れば我々は自分を守ることになるのです。

私はある山の木立の中の淋しい処に行つて心の元氣回復をはかります。それは寺院の天然の写想室とも又天然の茶室とも云える処です。それは直径約12メートルあります。小川が山から下り、この天然の聖所をめぐって流れ去る。さらに5つの石が程よくはなれて点在し、冥想者は互に多くは語れません。冥想の必須条件として3つの科学に関してのわずかにもせよある程度の理解を持たねばなりません。それは生物学、生態学、社会学です。私たちはすべてを知りすべてをなし得る超人であると自分を考えてはなりません。清澄にし味よき流れの水はこれ自然の「お茶」です。それは精神的にも肉体的にも元気をとりもどしてくれます。虫の音はやわらかな楽の音です。そこに腰をおろしてあたりを眺め、空を見上げ、生けるが如き小川のさきやきに耳をそばたて、そして私は奇跡を秘めた地球の事を考えるのです。眺めそして自然はその働きを止めません。肥料もなければ、殺虫剤もなく、あらゆる、戦いも、開発も自己破壊もありません。破壊があれば母なる大地は不毛と化するでしょう。

個は全の為にあり、全は個のためにあり、すべては完全な調和をなしております。人々がよく云う「ハーネスイング・ネイチャー」(馬具をつけて馬を思い通りに働かせる様に自然をも自由に利用すること)と云う言葉が心に浮んで来ます。

自分を自然の一要素(事実すべて私達はそのなのですが)と感じて居りますので、私は自分に馬具をつける必要はありません。しかし、若い人間が自然の理法に抗し続けて行けば、やがて自然が人間に馬具をつける時が来るでしょう。

今こそヒューマンイズムの花を咲かせるべき時としなければなりません。ロータリークラブ精神が、この偉大にして高貴なる目的達成の促進とさらには首尾よき実現に大いなる成功を収められんことを心から祈念するものであります。

## ★R.I. 第351地区

### 函館北ロータリークラブ会長殿

R.I. 第351地区世界親睦活動委員会 委員長 佐々木 貴士児  
拝啓 残暑の候貴クラブ会員ご一同ご清健のことと存じお慶び申し上げます。陳者、当地区委員会の今年度活動方針の一つとしまして、地区内全員が参加できる計画を協議いたし、下記行事を行なうことと致しました。就きましては会員各位の応募をお願い申し上げます。

記

R.I. 第351地区内ロータリー自身の主として、ロータリーをテーマとした文芸作品の公募を下記要項により行ないます。

- 1、作品~詩、短歌、俳句、標語、随筆などオリジナルな作品。
- 2、締切~今年11月20日 12月中旬に審査を行なう。
- 3、審査員~地区ガバナー、当委員会並びにアドバイザーを以て構成。
- 4、入賞~各ジャンル毎に天賞、地賞、人賞、佳作、入選とする。
- 5、発表~73年1月中旬にガバナー月信、その他を以て発表。
- 6、表彰~入賞者にはガバナーより賞状並びに記念品を贈る。
- 7、公表~各作品の公表は随時ガバナー月信、各クラブ会報に所載。
- 8、送り先~応募作品は各自「応募作品」と朱記した封書を以て

〒060 札幌市中央区北2条西4丁目(道ビル5F)

札幌市内ロータリークラブ事務所 宛

以上

●炉辺会合開催す

去る9月5日 PM6時半 湯川・一の松(於)  
出席者=市川、駒井、遠藤、山崎(尚)、山崎(幸)、広瀬、西巻、推谷、態谷、高杉、外山、平山、森、吉井(敬称略)

約20分程遅れて開かれたが、何んと言っても例会と違ったムードの中で個人個人の意見を交換し合うと云うことは、ロータリーに於ける最も大切なお互を理解し得る大切な場であると感じた。ロータリー用語から、クラブ委員会の構成の面等多くの質問や答があり最後に現例会場である国際ホテルの会場設営の問題と食事の問題で改正すべき点、更に申し出る点等に集中(食事代を値上げしても、もっとバラエティーにとんだボリュームのある内容にすべきであるなど)……手続要覧を会員に配布し、更に更に理解と勉強をされるように、以前の様に例会場にロータリーの資料を展示したらどうか等、ホームクラブの欠席でメーキャップの方が多いい会員も多いように思われる人もいるが、こんな時程出席し、先輩は後輩に、後輩は先輩の意見を聞いて、お互いに語り合っこそ歯車はスムーズに廻ると考えます。このような会合は何度もやるべきと云う意見が多く出た。約2時間で散会したが、岩塚情報委員長の欠席が残念であった。

●出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
47. 9. 6	53名	40名	13名		
47. 8. 30	53名	39名	14名	11名	94.34%
在函クラブ	(8/24) 函館R.C. 95.12%	(8/29) 函館東R.C. 97.78%	(8/25) 函館五稜郭R.C. 100%		

★第414回例会欠席者

岩塚、佐々木(推)、酒井、成沢、飯田、杉本、小村、成田、新、石原、山崎(尚)、山崎(幸)、小笠原(敬称略)

次回例会日 9月20日

プログラム「函館市企画部長 宇佐美 茂彦氏のお話」

(ヨシイ)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所  
函館市大手町5-10  
日 魯ビル3階  
☎.(0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10  
国際ホテル  
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1972. 9. 20

1972-1973 第12号

第416回 例会



ハバロフスク、アムール川も望む

角谷隆一 会員

Let's take a new look もう一度見直そう (Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

本日のプログラム

「函館市企画部長 宇佐美 茂彦氏のお話」

第415回 例会記録

- ◎司 会 市川芳夫会長
- ◎ゲ ス ト 早川 政名氏
- ◎ビ ジ タ ー 北 見 西R.C. 中川 孝一君 (石油販売)
- 東京小石川R.C. 早川 政名君 (弁 理 士)
- 伊 勢 南R.C. 西村 幸三君 (水産物製造)
- 函 館 R.C. 渡辺 良一君 他7名
- 函 館 東R.C. 加藤 勝郎君 他3名
- 函館五稜郭R.C 柳沢 勝 君 他3名
- ◎齊 唱 奉仕の理想

◎幹事報告

- ① 函館東ロータリークラブの15周年記念ゴルフ大会のご招待が参っております。参加ご希望の方は、お廻し致します用紙にサインして下さい。ご招待ですので参加料は